

社団法人 神奈川県理学療法士会 2008年度第5回理事会議事録

I. 日 時：2008年11月1日（土） 15:00～17:30

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：神内擴行、秋田 裕、萩原利昌、隆島研吾、畠中泰司、炭 孝昭、広瀬好郎
大槻かおる、松永篤彦、菅原憲一、惣田 洋、中村さち子、露木昭彰

委任理事：林 克郎、湯田健二

出席監事：君嶋武司

出席書記部員：齊藤和男

出席事務職員：石川久子

IV. 議長団選任

副議長、議事録署名人は出席理事より下記のように互選にて選出された。

議長：神内擴行 副議長：隆島研吾

議事録署名人：萩原利昌 広瀬好郎

V. 配布資料

2008年度第5回理事会議事案

2008年度第4回理事会議事録

2008年度第5回常任理事会議事録

理事会資料

2008年（平成20年）度中間監査報告

正味財産増減計算書

貸借対照表

平成21年度の事業計画及び予算案作成（依頼）

介護保険で提供する強化（2008/10/30付新聞記事）

「第2回かながわお口の健康フォーラム」チラシ

VI. 回覧資料

理事会資料、収受文書参照

日本理学療法士協会選挙規程（改正案）

日本理学療法士協会新定款改定案

VII. 議事内容

I. 会長挨拶・会長行動報告

II. 第4回理事会議事録承認の件

・前回理事会は委任者が多かった為、再度内容確認がされ一部修正の上、承認された。

III. 本会中間監査報告

・10月25日に実施された本会2008年度中間監査について、君嶋監事より報告があった。会務、会計については概ね順調かつ適切に実施されているとのことであったが、補足意見として、費用の支払いに関する書類の記入に当たっては整合性を持たせるようにする、引当金等の取り扱いについて注意する必要があるとのことであった。

・広瀬理事より監事から指摘された事項については、事務局で対応していくことが報告された。

IV. 日本理学療法士協会全国士会長会議に関する件

1. 厚生労働省への要望事案の件

・日本理学療法士協会より厚生労働省へ提出された 5 つの要望についての説明があった。
提出された要望は下記の通りである。

- ①訪問リハステーションの新設
- ②リハママネジメントと短期集中リハ実施加算の算定要件・報酬単価の見直し
- ③居住系入所者に対する訪問リハサービス提供の評価
- ④医療保険と介護保険の併用期間の見直し
- ⑤通所介護サービス施設でのリハサービスの見直し

2. 政治連盟活動の件

・本会の対応として、次年度 6 月総会において日本理学療法士協会会長を招いて、勉強会及び情報交換会を開催する方向で準備を進めていく事が承認された。

3. 各種依頼事項の件

・PT 協会公益法人化に向けて定款改訂案に対する意見が問われ、本会の意見を集約し、山口事務局長が PT 協会へ回答することとなった

1. 第 7 条第 3 項において、代議員を選出するために正会員による代議員選挙を行うとあるがこの選挙の実態や性質・手順、各都道府県士会との関係について。
2. 本第 1 次案によると役員の立候補については正会員を含むものなのか、代議員によるものなのかがはっきりしないことについて。

・PT 協会選挙管理委員会より提出された選挙規程改定案について説明があった。

・PT 協会に保管してある各都道府県士会より郵送された発行物に関して返却の要・不要の問があり、本会の対応として返却してもらう事が報告された。今後、可能ならば発行物を電子媒体で送付して欲しいとの要望があったので、本会の対応として可能なものに関しては電子媒体での送付に移行することが確認された。

・本会の公益法人移行について、移行条件等について再度情報収集をする事が確認された。

V. 次年度重点事業に関する件

・各部局ごとに重点事業案が提案され、承認された。

<事務局> 公益法人化に向けての取組みの強化

日本理学療法士協会クレジット機能付会員証普及の強化

<学術局> 第 49 回全国理学療法士学会の誘致準備

生涯学習支援活動の強化

<社会局> 公益活動の充実（理学療法フェスタの見直し等）

患者団体、障害者団体とのネットワーク強化

VI. 関東甲信越ブロック学会査読者推薦の件

・第 28 回関東甲信越ブロック理学療法士学会学会長より演題査読者の推薦があり、本会部長・委員長を推薦することになった。

・推薦に当たっては担当理事が推薦の承諾確認をし、学術局が集約することとなった。

VII. 各局・部・委員会よりの報告ならびに審議事項

1. 事務局

① 会員動向承認の件

- ・前回理事会より入会 5 名、転入 6 名、転出 3 名、休会 2 名、退会 9 名、県内異動 19 名があり 11 月 1 日現在 2,605 名が承認された。

② 各種団体よりの依頼事項に関する件

- ・神奈川県リハビリテーション事業団より「かながわ地域リハビリテーションフォーラム」の共催依頼があり、承認された
- ・横浜市より「障害程度区分認定審査会委員」の岡村孝治郎氏退任による後任者推薦依頼があり、秋田 裕氏を推薦することが承認された。
- ・神奈川県介護支援専門員協会より「第 7 回神奈川県介護支援専門員研究大会」への後援依頼があり、承認された。
- ・かながわ福祉サービス振興会より「第 2 回神奈川県特定施設研究大会」への後援依頼があり、承認された。
- ・神奈川県保険医協会より「第 14 回日常診療経験交流会」への後援依頼があり、承認された。

③ その他

- ・広瀬理事より部長・委員長宛に「平成 21 年度予算案作成」の依頼文書を発送することが報告された。
- ・大槻理事より神奈川県公衆衛生協会会長表彰式で本会より齋藤幸広氏が表彰されたことが報告された。
- ・神奈川県福祉監査指導課より「第 2 回新公益法人制度に関する説明会」の開催通知が届き、山口事務局が出席することが承認された。

2. 学術局

① 各部活動報告

- ・第 26 回神奈川県理学療法士学会演題登録数は 43 で、そのうち 30 は新人教育プログラム（症例検討Ⅲ）に対応し、今後スケジュールの最終調整が行われるとの報告があった。
- ・学術誌は現在表紙を作成中であり、次回理事会で報告されるとの事であった。
- ・投稿希望が 4 件あり現在査読中であり、依頼原稿については現在回収中であることが報告された。
- ・日本理学療法士協会より、「21 年度以降日本理学療法士協会ニュースに掲載されていても単位認定されない講習会があるのでご承知おき頂きたい」という通達があったことが報告された。

② その他

- ・11 月 18 日に神奈川県病院学会があり、本会より座長として菅原理事、運営係として菅原理事、米津氏（神奈川県立保健福祉大学）が出席することが報告された。

3. 社会局

① 各部活動報告

- ・公益事業推進部事業の理学療法フェスタが無事終了し、ヨッテク 477 名、介護予防キャラバン 28 名、公開セミナー 27 名、公開シンポジウム 105 名、ハイスクールフ

- オーラム 42 名、施設見学会 44 名、理学療法相談 1 件であったことが報告された。
- ・医療保険部より上半期は 8 件の問合せがあったことが報告された。
 - ・発達障害支援部より作業施設への相談事業が開始されたことが報告された。
 - ・発達障害支援部より小児施設の改定情報を冊子ではなくホームページ掲載で対応するように検討されていることが報告された
 - ・環境支援部より住宅改修研修会に 52 名の参加者があったことが報告された。
 - ・環境支援部よりスキルアップ研修会に 18 名の参加希望があり、終了したことが報告された。
 - ・会員ライフサポート部より第 26 回神奈川県理学療法士学会の中で「若い PT 男性のワークライフバランス」をテーマにした研修会を開催予定であることが報告された。
 - ・会員ライフサポート部より全国社会福祉協議会主催の「フランス少子化政策の実状と課題」、PT ママの会主催の「第 1 回女性の PT のライフバランス提案」以上 2 つの講習会に参加したことが報告された。
 - ・会員ライフサポート部よりセクハラ問題の対応について、茨城県士会より問合せがあり電話にて対応したことが報告された
 - ・介護保険部より訪問看護師を対象にした研修会が開催されたことが報告された。
 - ・中途障害支援部より施設アンケートを実施し現在回収中であることが報告された。
 - ・スポーツ支援健康増進部より高校野球メディカルサポートが終了したことが報告された。
 - ・メディカルサポート事業等で使用するユニフォームについて検討していく旨が確認された。
 - ・NPO コアネットより「出前授業」の講師依頼があり、中村理事が対応したことが報告された。
 - ・神奈川県公衆衛生学会の賛助会員コーナーに「PT あ！6 号」を提供したことが報告された。
- ② 神奈川県医療専門職連合会に関する件
- ・10 月 31 日に公開セミナーが開催されることが報告された。
 - ・次回理事会は 11 月 14 日日本会事務所で開催されることが報告された。
4. その他の部・委員会等
- ① 協会賞推薦依頼の件
- ・日本理学療法士協会より第 27 回協会賞受賞候補者の推薦依頼があり、本会より畠中泰司氏、中村さち子氏、広瀬好郎氏を推薦することが承認された。

以 上